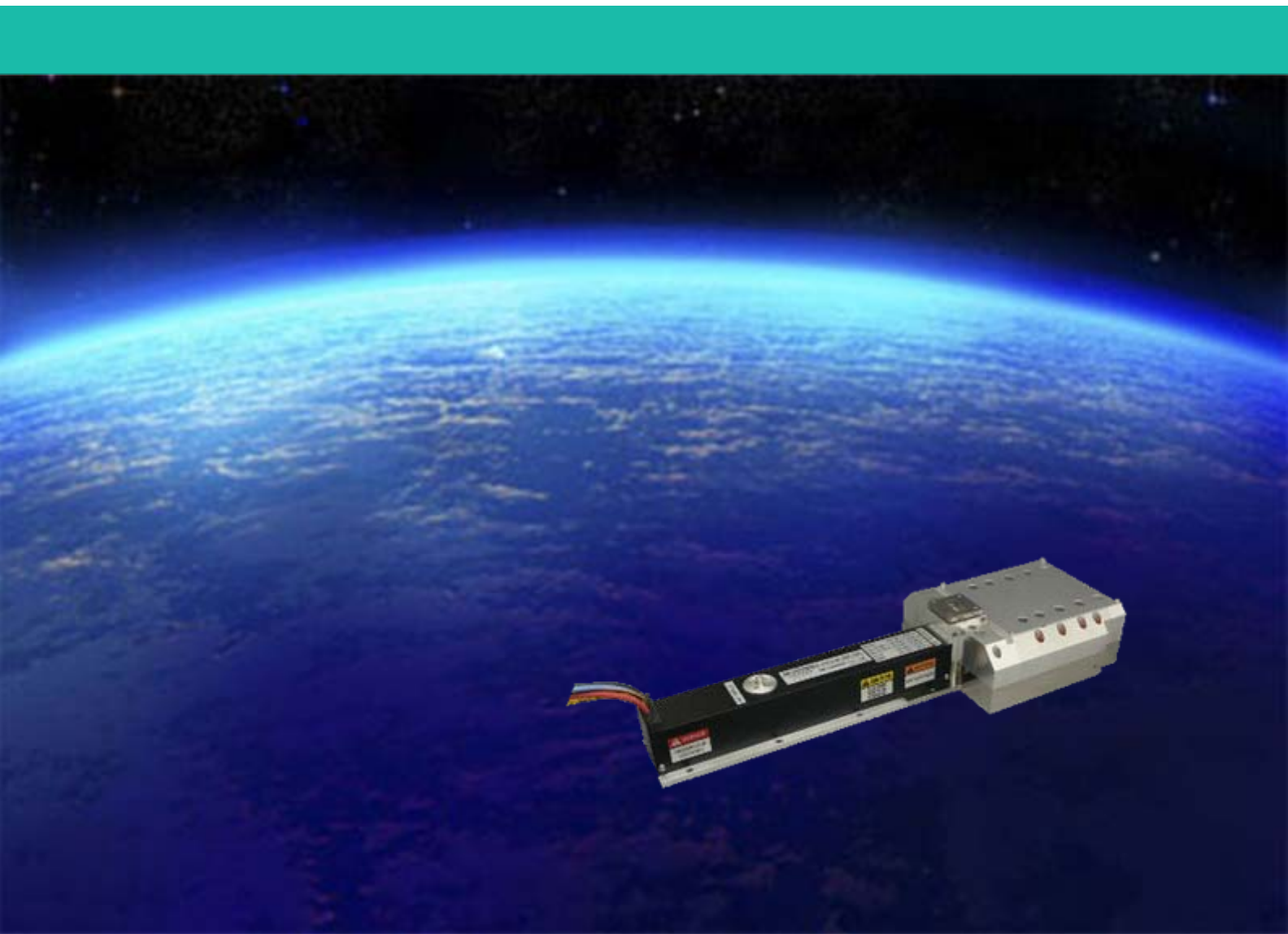


環境報告書 2010



会社概要／報告対象範囲／事業部環境方針

株式会社ネットコムセックは、高度な技術を駆使して、通信・セキュリティ機器の開発、設計、生産、ならびに維持整備事業を行い、国の安全に貢献しています。

株式会社ネットコムセック

会社概要

創立 : 1977年6月17日
事業内容 : 電波機器、通信機器、セキュリティ関連機器及び電力機器等の開発・設計・製造
・販売ならびに維持整備等
資本金 : 1億円
株主 : 日本電気株式会社
従業員 : 600名 (2010年4月)
本社 : 東京都府中市日新町一丁目10番地 (NEC府中事業場内)



報告対象範囲

集計期間 : 2009年度 (2009年4月～2010年3月)
対象範囲 : 相模原事業所 (マイクロ波管事業部)
神奈川県相模原市中央区下九沢1120番地
初台営業所 (第四営業部)
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー19F

*2010年4月1日をもって、NECマイクロ波管株式会社、株式会社ネットコムセック、東洋無線システム株式会社、東通電子株式会社の4社は株式会社ネットコムセックを存続会社として合併いたしました。
本報告書は、旧NECマイクロ波管株式会社を対象範囲としております。

マイクロ波管事業部 環境方針

■ 環境方針 ■

株式会社ネットコムセック マイクロ波管事業部は、豊かな社会の実現に貢献するため、地球環境への思いやりを企業風土に醸成して行動します。

■ 指針 ■

- ①開発・設計の段階から環境・安全を考慮して、省資源、省エネルギーの製品・サービスを提供します。
- ②最新の環境管理システムを確実に運用することにより、継続的な改善並びに環境汚染の未然防止を図ります。
- ③コンプライアンス第一の精神に則り、環境関連法令や当事業部が同意するその他要求事項を遵守します。
- ④環境保全のための具体的な環境目的・目標を明確にし、その活動状況に応じて定期的に見直します。
- ⑤当事業部の全従業員並びに当事業部のために働く全ての人に、環境方針を周知徹底すると共に、環境に関する教育及び意識啓発に努めます。
- ⑥環境方針は、社外に開示します。

事業部トップメッセージ



本年4月、旧NECマイクロ波管(株)は、(株)ネットコムセック、東洋無線システム(株)、東通電子(株)と統合合併し、(株)ネットコムセックマイクロ波管事業部として活動を開始致しましたことを改めてご報告申し上げます。この統合により今後は、旧4社の技術のシナジー効果を発揮し、製品ラインアップを充実するとともに、新たな製品やサービスのご提供でお客様のニーズに迅速かつ的確にお応えできるよう、従業員一同切磋琢磨してまいり所存です。今後ともご支援、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

さて、昨年9月の国連気候変動サミットにおいてわが国から温室効果ガス25%削減が提唱され、また、電気自動車やスマートグリッド等、環境に関連したニュースが毎日のように報道され、環境に対する関心が大変高まっております。当マイクロ波管事業部でも、“地球環境への思いやり”を環境方針に掲げ、高効率で省資源、有害物質を可能な限り削減した環境配慮型製品のご提供を第一に心がけ、新規製品はすべてエコシンボル、あるいはエコプロダクツに適合するよう開発を進めております。

また、環境配慮型製品開発とともに職場で出来る“省エネ”にも配慮致します。昨年実施した省エネ診断の結果を反映して、製造プロセスにおけるベース電力の測定や空調室外機のよしずの設置など、省エネ施策実施にも注力してまいりました。その結果、CO2排出量の削減等、わずかではありますが地球温暖化防止にも貢献することができたと考えております。

毎年、毎年の小さな成果を着実に積み上げ、更に大きく結実させるよう全従業員の環境意識を高め、2010年度もエコ推進活動に取り組んでまいります。皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

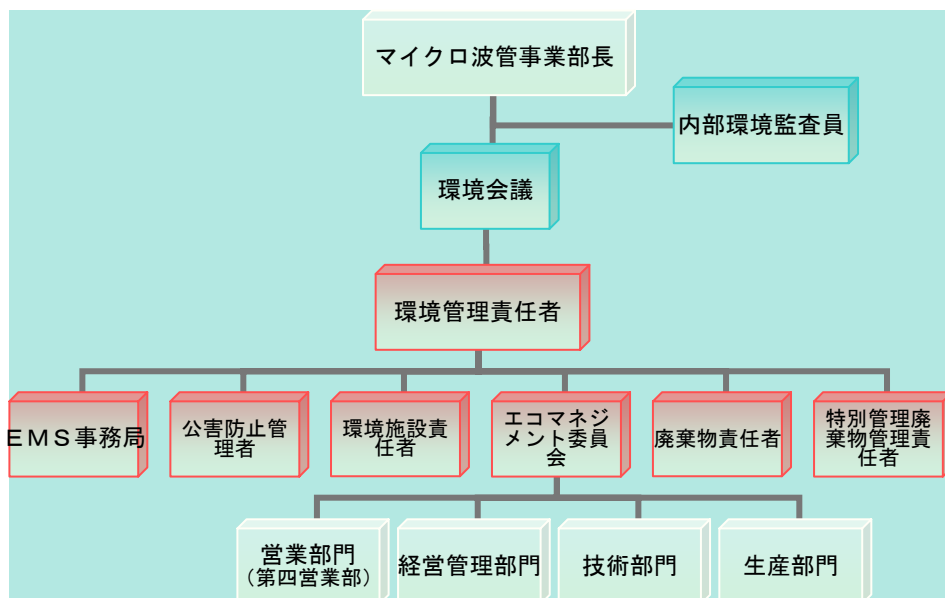
(株)ネットコムセック マイクロ波管事業部 事業部長

藤原英次

マイクロ波管業部 環境管理体制

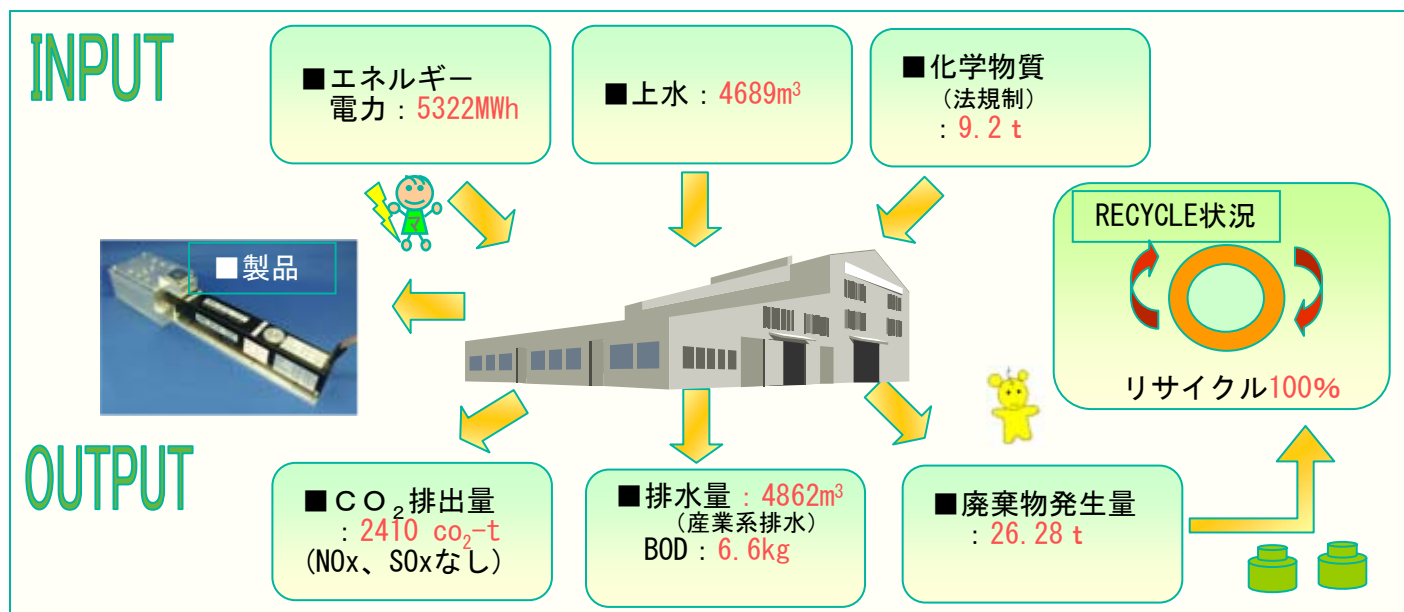
事業部長の指示がすばやく全従業員に伝わるよう、トップダウン体制で推進、維持しています。

右の図は、合併後のマイクロ波管事業部の環境管理体制を示しています。マイクロ波管事業部と営業本部・第四営業部の管理体制を組み、活動を行っております。



環境との関わり

マイクロ波管事業部は、INPUTが減ることがOUTPUTを確実に減らせる方法であることから事業活動と環境との関わりを数値で把握しています。



環境事故・災害・苦情

2009年度は、災害・苦情はゼロ件でしたが、事業場内で廃油を運搬時、路面の凸凹に台車の車輪が挟まり、一斗缶が1缶転倒し、廃油が約1リットル漏洩する事故が発生しました。ただちに拭き取り、雨水溝への侵入もなく、大事に至りませんでした。この事故を踏まえ、運搬時の積載量制限や転倒防止措置等の是正処置、教育ならびに緊急事態訓練を行いました。

今後も無事故、無災害にむけた活動を継続いたします。

主な目標と実績

2009年度は、10つの目標のうち7項目で達成となりました。電力使用量については、従来から実施している設備の効率的運用、空調機のタイマー利用などの省エネ施策により、目標を達成することができました。意識啓発では、エコエクス層99.2%を達成いたしました。これは従業員の環境に関する知識、環境に配慮した行動を評価する指標です。一方、未達であった項目では、試薬の代替化によるVOC物質の削減は、代替延期に伴い中止となりました。また製品含有化学物対応においては、社内のルール化達成に至らず、2010年度に目標として再度取り入れ、達成を目指し推進いたします。

😊 達成 😞 未達 😐 中止

指標	環境目標項目	目標値	実績値	評価
環境配慮型	グリーン製品 ^{注1} の売上割合	41%	53.9%	😊
	新製品のエコシンボル製品 ^{注2} の割合	70%	100%	😊
地球温暖化防止	電力使用量を5500MWh以下	5500MWh	5322MWh	😊
	製品CO ₂ 排出量（性能ベース）2005年度基準で8%削減	8%	14.6%	😊
資源有効利用	VOC対象物質削減	調査	中止	😐
リスクミニマム	著しい環境側面に関する緊急事態訓練、教育・訓練の100%の実施	100%	100%	😊
製品の環境対応	RoHS指令の含有化学物質管理強化システム構築	構築	遅れ	😞
	REACH規則SVHCの含有量調査を代表機種にて実施し、管理体制を検討する。	調査	検討未了	😞
環境意識啓発/ 業務改善	間接業務の効率化	1件/月	48件	😊
	エコエクセレンス層 ^{注3} の拡大	90%	99.2%	😊

注. 1. グリーン製品は、NECグループの環境配慮製品基準「IOP」の基準をクリアした製品です。
 2. エコシンボル製品は、上記基準の「IOP」の製品の中でもさらに環境に配慮した製品に与えられます。
 3. エコエクス層は、NECグループ環境意識調査において、環境知識が高くかつ自己の行動力の高い評価者です。

ISO14001登録証

2003年11月より、NECグループとして環境マネジメントシステムの認証が統合されております。

ISO14001マネジメントシステム
登録証番号：JQA-EM3476T

登録：2003年11月1日

更新：2009年11月1日

有効期限：2012年10月31日



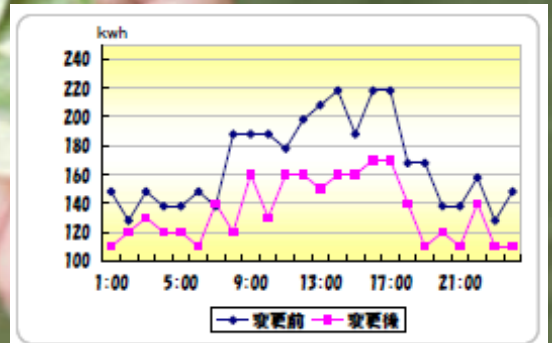
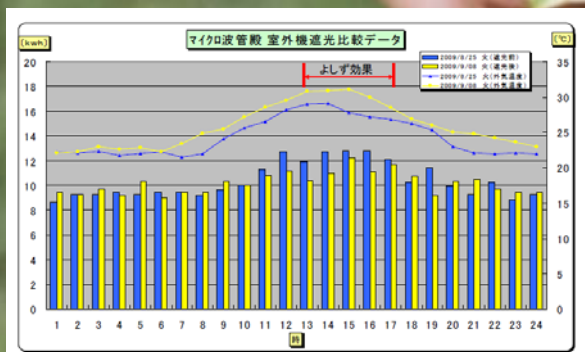
2009年度NEC環境経営監査（JQA代替審査）



ISO14001登録証

生み出す製品は環境配慮設計 日々、省エネ活動推進しています

電力使用量の削減のため、当事業部では設備の効率的運用、白熱灯から電球型蛍光灯への切替、空調機のタイマー運転等、数々の施策を実施してきました。2008年には省エネ診断を受審し、新たな課題も見えてきました。当事業部のベース電力（休日・夜間を問わず発生する電力）を把握をした結果、およそ8割の電力に相当することがわかりました。特に昼夜間で運転する設備や空調機が大量の電力を消費しています。施策の一つとして、空調機温湿度設定状況調査を実施しました。その後、適切な温湿度設定変更を行い電力量を測定した結果、電力使用量全体の約4.1%の削減効果が得られました。また、省エネ診断で空調機の室外機が、特に夏場で直射日光に当たり、熱風を取り込んでしまい冷却効率が悪くなっているとの指摘から、よしず（遮断ネット）の取り付けを試みました。試行期間が少なかったにもかかわらず、その削減効果を得ることができました。



空調機温湿度設定見直しによる効果

- ・変更前(紺色)・変更後(ピンク色)
- ・1日の電力量で比較 約33kwh削減効果が得られることが判明しました。



よしず設置と設置なしで比較した図
設置した場合、外気温が高いのに
電力消費量が抑えられています

室外機へ「よしず」(遮断ネット)の取付

- ・遮断ネットで吸込空気温度の 低下を図る
- ・夏場の温度の高い屋間に効果がでる。
- ・年間の効果見込み(6~9月)
約708KWh/年 の削減が見込まれています。



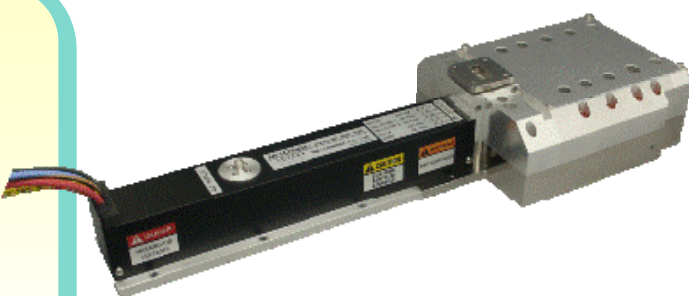
エコシールド製品 LD7294



私達が開発する製品は、従来製品と比較してより高効率な製品を開発し、化学物質の使用量を削減し、地球環境への影響を限りなく少なくするように設計しています。

さらにその確認のために製品のアセスメント評価を実施しています。お客様に永くご愛顧いただけるような製品の開発を心がけています。

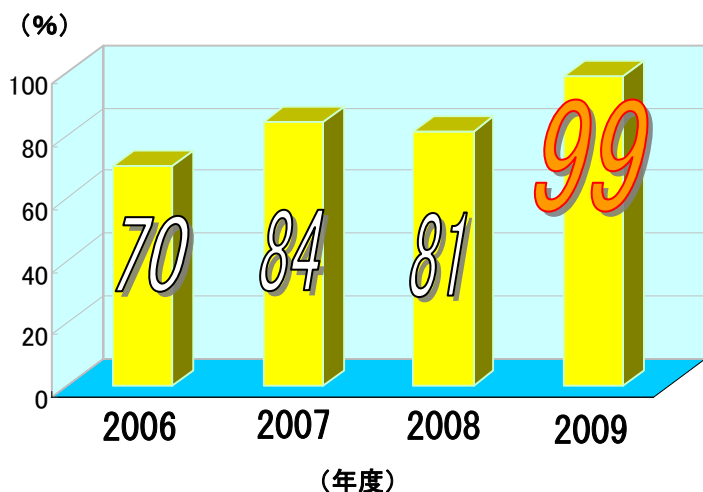
技術部
(左から)岩上主任、金本課長



- ・RoHS指令対応品
- ・長寿命設計

環境意識調査

エコエクセレンス99.2%達成



NECグループ全体で毎年行っている「環境意識調査」で、行動、知識ともに優れたエコエクセレンス層の拡大を目指し目標90%を掲げて参加をしました。環境管理責任者による教育で用語を説明するほか、社内に事務局手製のポスターを掲示して従業員の環境意識向上に努めました。結果、エコエクセレンス率99%、参加率は100%と素晴らしい成績を残すことができました。



社内に掲示した事務局手製のポスター

緊急事態訓練

当事業部は、排水処理施設、めっき装置、水素炉等を保有しており、万が一の緊急時に備えるため、訓練を定期的実施しています。さらに2009年度からは、訓練内容が偏らず様々なケースを定期的実施できるように中期的な計画立案をして実施しています。2009年度は下記内容で4回の訓練をシナリオを練り、実施しました。手順を再確認することができ、役割や課題等が明確になるため、2010年も引き続き活動を推進します。



2009年9月
瞬時停電 水素炉75-M



2009年12月
D棟放流槽 pH異常



2009年度3月
廃油C 漏洩



2009年6月
薬品注入時漏洩



緊急時という、いつもと全く異なる状況においては、皆が「初心者」だと思います。訓練を経験することは、単なる初心者ではなく、もう一歩進んだ行動が取れるようになることであり、応用力もつくため、大変重要だと考えて参加しています。

生産部（機工）
左から
中道主任、佐々木主任、青木班長

2010年度の活動目標と社会貢献

活動目標

2010年度の目標は、下記8つの目標に的を絞り、メンバー一丸となって活動に取り組みます。

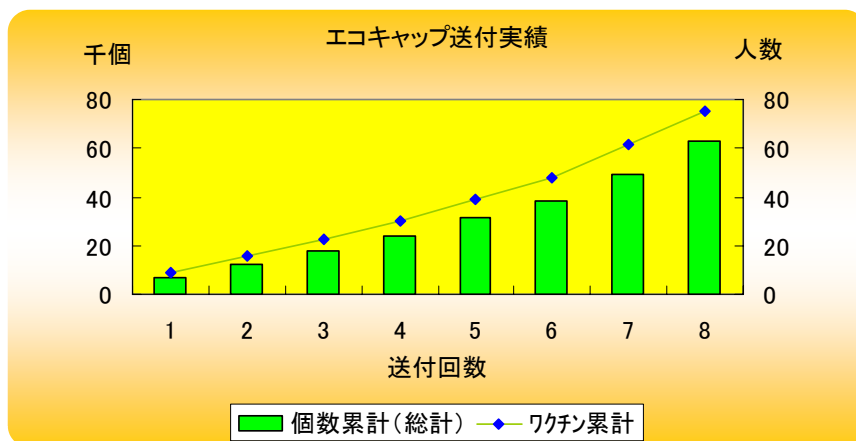
指標	環境目標項目	目標値
環境配慮型	グリーン製品の売上割合	42%
	新製品のエコシンボル製品の割合	80%
地球温暖化防止	製品CO ₂ 排出量（性能ベース）	10%
	電力使用量	5450MWh以下
製品の環境対応	製品含有化学物質の管理体制構築	体制構築完了
	REACH 代替機種にてSVHC含有調査	調査完了
業務改善	間接業務の効率化	1件/月
リスクミニマム	緊急事態訓練の実施、部門別教育の実施	100%

社会貢献 ～エコキャップ®回収実績～

2008年度から開始したペットボトルキャップ回収活動は、これまでに8回送付、総計62,704個で、ワクチンは約78人分となりました。

世界の子供たちが必要な予防接種を受けることができるよう、貢献したい気持ちと分別の意識が高く、家庭で集めて持ち寄り協力してくれる社員も大勢います。

2010年度も活動を継続いたします。



エコキャップの送付先: NPO法人(内閣府認証)エコキャップ推進協会 殿 <http://ecocap007.com>

お問い合わせは、下記へ

株式会社ネットコムセック マイクロ波管事業部 技術部(生産技術)
TEL:042(771)4594 FAX:042(771)2464

●VO09-環185 2010年6月発行

●本環境報告書は、ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.nec-mwt.com/>